



自分らしく輝く—自分のプラス1に挑戦する子ども—の育成を目指して

古里小学校

古里小学校は、富山市南西部に位置し、豊かな自然に恵まれ、近くには、大塚・勅使塚等の史跡を有する婦中ふるさと自然公園があります。今年度は、「自分のプラス1に挑戦」を合い言葉に、一人一人の子どもが自分自身のよさを知り、「自分らしく輝く」ことができるよう全校で育成に努めています。本校が大切にしている活動に、縦割り清掃、スマイル花壇づくり等スマイル班での縦割り班活動があります。異学年の交流を通して、リーダーシップ、フォロアーシップの育成を目指しています。また、老人クラブ等との異世代の交流もさかんです。畝づくりや野菜植え、田植えや稲刈り、昔の遊び交流を行っています。さらに、近隣のしらとり支援学校とは毎年4～6年生が交流活動を行い、共に成長を喜び、励まし合う姿が見られます。今後も、多くの人とのかかわりを通して、地域に対する誇りと愛着をもち、自他のよさに気づき、自己有用感を高め、「自分らしく輝く」古里っ子に育ててほしいと願っています。



＜お年寄りと一緒に

カルタで遊ぶ子どもたち＞



レジリエンス（困難や逆境を乗り越え、成長していく力）を育てる

南部中学校

本校では、不安定な思春期の生徒に、予測不能な時代をしなやかに生きる力を身につけさせるべく、昨年度より「レジリエンス」の育成に取り組んでいます。全米心理学会が「逆境や困難、強いストレスに直面したときに適応する精神力と心理的プロセス」としている「レジリエンス」の育成・強化を目指し、次のプログラムを全学級で実施しました。

【基礎講座】学級担任による指導「レジリエンスの3つのステージ」等

【基礎知識の定着】富山市教育センター臨床心理士による講演「思春期のメンタルヘルス」

【スキルアップ】カウンセリング指導員によるTT授業「とらえ方の違いによって気持ちが変わる」

富山大学の専門家の監修を得た基礎講座や心の授業では、ネガティブな感情から真剣に学ぼうとする態度を引き出し、憤りをばねに成果を出すことも大事にしています。落ち込んだ時のメンタルケアで終わらず、困難や逆境が未来に待っていたとしても人生を自分で幸せに変えることができる基礎を培っています。昨年12月の生徒アンケートでは、「だいたい」を含めると76%の生徒が「レジリエンスが高まった」と回答していますが、よりよいプログラムを目指して歩みを進めています。



＜カウンセリング指導員による

TT授業の様子＞